

団体名  <b>糸満市立喜屋武こども園</b>	連絡先 TEL: <b>098-997-3663</b> Eメール: <a href="mailto:kyankodomoen@city.itoman.lg.jp">kyankodomoen@city.itoman.lg.jp</a>
-------------------------------	--

## 1 実践事項 (①)

タイトル「滑らかな幼小接続を目指して」

## 2 実践内容

## ○合同研修会（情報交換会）の実施

- ・1年生の授業を参観し、参観後に入学後の育ちの確認、情報交換を行う。
- ・喜屋武小学校職員を招き、公開保育を行い、1～5歳児の遊ぶ姿から発達の違いや遊びを見てもらう。振り返りでは、各担任から遊びの中での園児の心の動きや遊びから学んでいる姿、保育教諭の意図を伝え、育ちの確認、援助の方法について話し合う。

## ○公開保育

- ・園内研修の中で、毎月一クラスずつ公開保育を行い、それぞれの発達や遊びを全職員で把握する。また、園内研修のテーマに沿った教育保育の展開をドキュメンテーションにして遊びを5領域や10の姿にわけ、育ちや学びについて話し合う。その後、ドキュメンテーションを張り出して、保護者に発信する。

## ○小学校との交流活動

- ・各学年との交流（絵本の読み聞かせ・七夕交流・レク交流・給食体験・おもちゃ祭り・お招き会等）を行い、小学生に親しみ就学への期待を持つ。

## 3 説明資料



3年生の絵本読み聞かせ

4年生との七夕交流  
(七夕飾り作り)

小学校の音楽発表会



幼小合同研修会

## 4 成果

- 小学校との交流を通して、小学生の姿勢や発表の様子を見たことがきっかけとなり、自分なりにやってみようという意欲が出ていろいろな活動に積極的に取り組む姿が見られた。
- 幼小合同研修会では、園での遊びを通じた学びや子どもの育ちの連続性について話し合い、育ちのつながりを確認することができた。
- 交流計画案の見直しをしたことで、スムーズに交流会を進めることができた。

## 5 課題

- 幼小交流の際、互いのねらいの共通理解を図るための話し合いの工夫。
- 幼小交流後の振り返りをする時間の確保。